

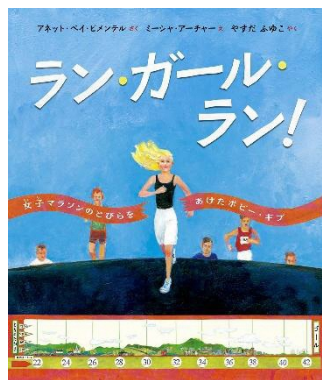
ときつちよう　うちどく　すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ちゅうがくねん　む　ねん　あきごう
中学年向け　２０２６年　秋号



ときつちようりつときつとしょかん
発行：時津町立時津図書館



『ラン・ガール・ラン！女子マラソンのと
びらをあけたボビー・ギブ アネット』
バイ・ピメンテル/作 ミーシャ・アーチャー/絵
やすだ ふゆこ/訳（偕成社）

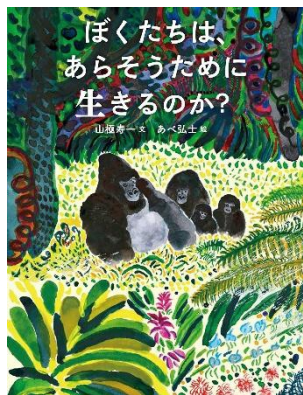
走ることがとても大好きな女の子ボビー
は、マラソンのレースに出たかったのですが、
当時は男性しか参加ができませんでした。

そこでボビーは、男の子用の小さいランニ
ングシューズを履き、ぶかぶかのトレーナーを
着てボストンマラソンにこっそり出場しまし
た。女子マラソンの始まりとなったエピソード
の絵本です。

うちどく
家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本
について話す。これが「うちどく（家読）」
です。むずかしいルールはいりません。
家族みんなでルールを決めてはじめてみま
しょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさん
やおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい
時間を過ごしましょう。



『ぼくたちは、あらそうために
生きるのか？』
山極 寿一/文 あべ 弘士/絵（偕成社）

ゴリラは、相手に対しての細やかな気持ちを
持ち、平等な社会を作っています。本来、ヒ
トはゴリラより共感力があるはずなのに、
戦争は今もなくなりません。ゴリラは、勝ち負
けを決めず引き分けでけんかを終わらせるそう
です。「いつかきっと、戦争のない世界を作る
ことができるはずだ」ゴリラの研究者山極さ
んが訴える私たちニンゲンへのメッセージ
絵本。



『命はぐくむ生きもの家族図鑑』
今泉 忠明/監修 グループ コロンブス/編
（大日本図書）

人間と同じように、動物たちにも家族
がいる。でも、子育ての仕方や暮らし方
は、動物によってさまざま！あなたの好
きな動物は、どんな風に成長して、暮ら
しているのか見てみよう！
同じ地球上で育まれる命のつなが
りを感じられる１冊です。



『ヘンゼルとグレーテル』
グリム/原作 スティーヴン・キング/文
モーリス・センダック/絵 穂村 弘/訳（NHK 出版）

誰もが知る童話が『かいじゅうたちのいる
ところ』のセンダックの絵と、ミステリーの名
手・キングの文章でよみがえります。いじわ
るなまま母、怖い魔女、そして、ステキなお菓
子の家。お父さんやお母さんも、ワクワクしな
がら読んだ子どもの頃を思い出して、一緒に楽
しんでくださいね。



『わたしだけのいすどうつくる？
みらいへのちから創造力』
二歩/作（くもん出版）

自分の部屋にいが欲しい女の子がいまし
た。そこで、女の子はいすやさんに「だれも
見たことがないわたしのいすがほしい」
とたのみました。でも、いすやさんに「自分
で作らなきゃ、だれも見たことがないことには
ならない」と言われ、女の子は自分だけの
いすをつくりはじめました。



『あさって町のフミオくん』
屋田 弥子/作 高畠 那生/絵（プロンズ新社）

「あさって町」は少し不思議な町。この
町に住むフミオくんは、いろいろなことに
まきこまれてしまいます。しまうまの子ど
もに間違われたり、おじさんがガイコツに
なっちゃったり。

へんてこだけど、どこかあたたかいフミ
オくんの日常をのぞいてみませんか？